

別記様式第1

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書

令和 7 年 3 月 25 日

公益財団法人 兵庫丹波の森協会

殿

届出者

住 所

氏 名

電話番号

下記のとおり消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。

記

防火対象物	所在地	兵庫県丹波市柏原町柏原5600					
	名称	丹波の森公苑 里山スクエア コワーキングスタジオ、キッチンスタジオ					
	用途	令別表第一(5)項イ					
	規模	地上	2階	地下	1階	延べ面積	210.28㎡

消防用設備等
（特殊消防用設備等）の種類等

消火器具、自動火災報知設備、誘導灯

※ 受 付 欄	※ 経 過 欄	※ 備 考

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 消防設備又は消防設備点検資格者が点検を実施した場合は、点検を実施した全ての者の情報を別記様式第3に記入し、添付すること。
3 消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
4 ※印欄は、記入しないこと。

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果総括表

(その1)

名 称	丹波の森公苑 里山スクエア コワーキング スタジオ、キッチンスタジオ		防 火 管理者	
所在地	兵庫県丹波市柏原町柏原5600		点検実施 責 任 者	
点検種別	機器点検 ・総合点検・ (設備等設置維持計画による点検)		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ～ 令和 7 年 3 月 12 日
設 備 名	点 検 結 果		措 置 内 容	立 会 者
	判定	不 良 内 容		
消火器具	●・不良			岡田 智恵
自動火災報知設備	●・不良			岡田 智恵
誘導灯	●・不良			岡田 智恵

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

備考 2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合には「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。

備考 3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消 火 器 具 点 検 票

設置階 全 階

名 称	丹波の森公苑 里山スクエア コワーキングスタジオ、キッチンスタジオ		防 火 管理者
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600		立会者
点検種別	機器点検	点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日
点 検 者	氏名	点 検 者	社名 TEL
		所属会社	住所

点 検 項 目		点 検 結 果						判 定	不 良 内 容	措 置 内 容
		消 火 器 の 種 別								
		A	B	C	D	E	F			
機 器 点 検										
設 置 状 況	設 置 場 所	○		○				○		
	設 置 間 隔	○		○				○		
	適 応 性	○		○				○		
	耐 震 措 置	/		/				/		
表 示 ・ 標 識		○		○				○		
消 火 器 の 外 形	本 体 容 器	○		○				○		
	安 全 栓 の 封	○		○				○		
	安 全 栓	○		○				○		
	使用済みの表示装置	/		/				/		
	押し金具・レバー等	○		○				○		
	キ ャ ッ プ	○		○				○		
	ホ ー ス	○		○				○		
	ノズル・ホーン・ノズル栓	○		○				○		
	指 示 圧 力 計	○		○				○		
	圧 力 調 整 器	/		/				/		
	安 全 弁	/		/				/		
	保 持 装 置	/		/				/		
	車 輪（車載式）	/		/				/		
	ガス導入管（車載式）	/		/				/		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消 火 器 の 耐 圧 性 能	本・体内 内容筒 器等	本 体 容 器	/	/	/	/			
		内 筒 等	/	/	/	/			
		液 面 表 示	/	/	/	/			
	消 火 薬 剤	性 状	/	/	/	/			
		消 火 薬 剤 量	/	/	/	/			
		加 圧 用 ガ ス 容 器	/	/	/	/			
		カ ッ タ ー ・ 押 し 金 具	/	/	/	/			
		ホ ー ス	/	/	/	/			
		開閉式ノズル・切替式ノズル	/	/	/	/			
		指 示 圧 力 計	/	/	/	/			
		使用済みの表示装置	/	/	/	/			
		圧 力 調 整 器	/	/	/	/			
		安 全 弁 ・ 減 圧 孔 (排圧栓を含む。)	/	/	/	/			
		粉 上 り 防 止 用 封 板	/	/	/	/			
	消 火 器 の 耐 圧 性 能		パ ッ キ ン	/	/	/	/		
		サイホン管 ・ ガス導入管	/	/	/	/			
		ろ 過 網	/	/	/	/			
		放 射 能 力	/	/	/	/			
簡 火 器 の 耐 圧 性 能		外 形	/	/	/	/			
		水 量 等	/	/	/	/			
備 考	※中性強化液（蓄圧式）消火器×1本								
	※粉末（蓄圧式）消火器×8本…全数 製造5年以内につき機能点検対象外								
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	
	秤量計	0～2kg		ヤマト	秤量計	0～30kg		ヤマト	
	ストップウォッチ	W610		セイコー					
器 種 名			設 置 数	点 検 数	合 格 数	要修理数	廃 棄 数		
末（蓄圧式）外観点検			8	8	8	0	0		
中性強化液（蓄圧式）外観点検			1	1	1	0	0		

1 この用紙の大きさは、日本産業規格A 4 とすること。

2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消 火 器 管 理 票

[illegible]

自動火災報知設備点検票

名 称	丹波の森公苑 里山スクエア コワーキングスタジオ、キッチンスタジオ			防 火 管理者	
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600			立会者	
点検種別	機器・総合		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日	
点 検 者	氏名		点 検 者	社名	TEL
			所属会社	住所	
点 検 設 備 名	受 信 機	製 造 者 名 ホーチキ (株) RPV-AAW10			
		型 式 等 受第28-3号 P型1級 蓄積式 2022年			
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容
		種別・容量等の内容	判定	不 良 内 容	
		機 器 点 検			
予非 (内蔵電 源型)	外 形	密閉形ニッケルカドミウム 古河電池(株) 品評字第12-14号 20-S101A	○		
	表 示	DC 24V 0.45Ah/5HR 2022年	○		
	※端子電圧	26.6 V	○		
	※切替装置	自動切替	○		
	※充電装置	トリクル充電	○		
	※結線接続	コネクタ式	○		
受 信 機 中 心 機	周 囲 の 状 況	B1F事務所	○		
	外 形	P型1級 壁掛型	○		
	表 示		○		
	警戒区域の表示装置	7/10 L	○		
	電 圧 計	交流電源表示灯	○		
	ス イ ッ チ 類		○		
	ヒ ュ ー ズ 類	0.5, 1, 3, 4, 5 A	○		
	※継 電 器		○		
	表 示 灯		○		
	通 話 装 置	受信機～発信機間	○		
	※結 線 接 続		○		
	接 地	D種接地	○		
	附 属 装 置	警備保障(山陰警備保障)	○		
	※火災表示等	蓄 積 式		○	
アナログ式			/		
二 信 号 式			/		
そ の 他			/		
※注 意 表 示		/			
回 路 導 通	自動検出	○			
設 定 表 示 温 度 等		/			
感知器作動等の表示		/			
予 備 品 等	ヒューズ、警戒区域図等	○			

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 表中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

感 知 器	外 形		○		
	警 未 警 戒 部 分		○		
	戒 感 知 区 域		○		
	状 適 応 性		○		
	機 能 障 害		○		
	※ ス ポ ッ ト 型	差動 定温(再) 熱アナログ	○		
	分 布 型	空 気 管 式	/		
		熱 電 対 式・ 熱 半 導 体 式	/		
		感 知 線 型	/		
	※ ス ポ ッ ト 型	イオン 光電 アナログ	○		
分 離 型		/			
※ 炎 感 知 器	赤外線 紫外線	/			
※ 多 信 号 感 知 器・ 複 合 式 感 知 器		/			
遠隔試験機能を有する感知器		/			
発 信 機	周 囲 の 状 況	各階	○		
	外 形	P型1級	○		
	表 示		○		
	押しボタン・送受話器		○		
	表 示 灯	AC24V	○		
音 響 装 置	外 形	DC24V	○		
	取 付 状 態		○		
	音 圧 等	90dB以上	○		
	鳴 動 方 式	一斉 区分 相互 再鳴動	○		
※ 蓄 積 機 能		○			
※ 二 信 号 機 能		/			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
- 7 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
3 ※印のあるもので不良のものは、(その ?) に機器ごとに点検結果を記入すること。
4 点検結果の欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
5 警戒区域内の感知器の個数が 1 の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

誘導灯及び誘導標識点検票

設置階 全 階

名 称	丹波の森公園 里山スクエア コワーキングスタジオ、キッチンスタジオ			防 火 管理者	
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600			立会者	
点検種別	機器		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日	
点 検 者	氏名		点 検 者	社名	TPI
			所属会社	住所	

点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容	
			種別・容量等の内容			判定		不 良 内 容
			避難口	通 路	客 席			
機 器			点 検					
誘 導 灯	外 箱 ・ 表 示 面	種 類		/	/	○		
		視 認 障 害 等		/	/	○		
		外 形		/	/	○		
		表 示		/	/	○		
	非常電源 (内蔵型)	外 形		/	/	○		
		表 示		/	/	○		
		機 能		/	/	○		
	光 源			/	/	○		
	点 検 ス イ ッ チ			/	/	○		
	ヒ ュ ー ズ 類			/	/	○		
	結 線 接 続			/	/	○		
	信号 装置等	外 形	/	/	/	/		
結 線 接 続		/	/	/	/			
機 能		/	/	/	/			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

考 察 原 因	外 形	/	/	/	/			
	視 認 障 害 等	/	/	/	/			
	採 光 又 は 照 明	/	/	/	/			
	※表 示 面 の 輝 度	/	/	/	/			
	※設 置 場 所 の 照 度	/	/	/	/			
	※※ヒ ュ ー ズ 類	/	/	/	/			
	※※結 線 接 続	/	/	/	/			
機 能	※※※ 非常電源	外 形	/	/	/	/		
		表 示	/	/	/	/		
		機 能	/	/	/	/		
考 察 機 器								
考 察 機 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名
	照 度 計	BN-2000LT		ナショナル				
	マキスター	CD-770		三和電気				

- 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 票中※印のあるものは、消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第28条の2第1項第3号並びに第28条の3第4項第3号の2及び第10号に規定する蓄光式誘導標識、「誘導灯及び誘導標識の基準」（平成11年消防庁告示第2号）第5第3号（5）に規定する高輝度蓄光式誘導標識に限る。
- 7 票中※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識に限る。
- 8 票中※※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識のうち、内蔵型の電源を有するものに限る。

誘導灯設置一覽表

(設置階

全階)

[illegible]

※ 階段通路誘導灯×2

生用

考

誘導灯及び誘導標識点検票								設置階	全	階
名 称	丹波の森公苑 里山スクエア コワーキングスタジオ キッチンスタジオ							防 火 管理者		
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600							立会者		
点検種別	機器		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~			令和 7 年 3 月 12 日			
点 検 者	氏名		点 検 者	社名			TEL			
				住所						
点 検 項 目			点 検 結 果					措 置 内 容		
			種別・容量等の内容			判定	不 良 内 容			
			避難口	通 路	客 席					
機 器 点 検										
外 箱 ・ 表 示 面	種 類		/	/	○					
	視 認 障 害 等		/	/	○					
	外 形		/	/	○					
	表 示		/	/	○					
非常電源 (内蔵型)	外 形		/	/	○					
	表 示		/	/	○					
	機 能		/	/	○					
光 源		/	/	○						
点 検 ス イ ッ チ		/	/	○						
ヒ ュ ー ズ 類		/	/	○						
結 線 接 続		/	/	○						
信号 装置 等	外 形	/	/	/	/					
	結 線 接 続	/	/	/	/					
	機 能	/	/	/	/					

- 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

誘 導 標 識	外	形	/	/	/	/								
	視	認	障	害	等	/	/	/	/					
	採	光	又	は	照	明	/	/	/	/				
	※表	示	面	の	輝	度	/	/	/	/				
	※設	置	場	所	の	照	度	/	/	/	/			
	※※ヒ	ュ	ー	ズ	類	/	/	/	/					
	※※結	線	接	続	/	/	/	/						
	※※※ 非常電源	外	形	/	/	/	/							
		表	示	/	/	/	/							
		機	能	/	/	/	/							
備 考														
則 定 機 器	機	器	名	型	式	校正年月日	製造者名	機	器	名	型	式	校正年月日	製造者名
	照	度	計	BN-2000LT		パナソニック								
	マ	シ	ス	ター	CD-770		三和電気							

- 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 票中※印のあるものは、消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第28条の2第1項第3号ハ並びに第28条の3第4項第3号の2及び第10号に規定する蓄光式誘導標識、「誘導灯及び誘導標識の基準」（平成11年消防庁告示第2号）第5第3号（5）に規定する高輝度蓄光式誘導標識に限る。
- 7 票中※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識に限る。
- 8 票中※※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識のうち、内蔵型の電源を有するものに限る。

